

* 前期比：D I・季節調整済

景況

業況は、紙・紙製品卸売業が横ばいで推移し、他の卸売業では悪化傾向を弱めました。全体的には-45と前期より39ポイント上昇し、悪化傾向を大きく弱めました。売上額は-23と38ポイント、収益は-18と48ポイント上昇し、大きく減少傾向を弱めました。価格面では、販売価格は-4と3ポイント下降し、下降傾向を強め、仕入価格は横ばいで推移しました。在庫は13と12ポイント下降し、過剰感を弱め、資金繰りは-30と17ポイント上昇しましたが、依然窮屈感は続いています。残業時間は-12と1ポイント上昇し、減少傾向を弱めました。人手は横ばいで推移しました。設備の状況は-2と2ポイント下降し、若干不足感が強まりました。設備投資については、事務機器等で15%の先が実施し、前期より2ポイント減少しました。

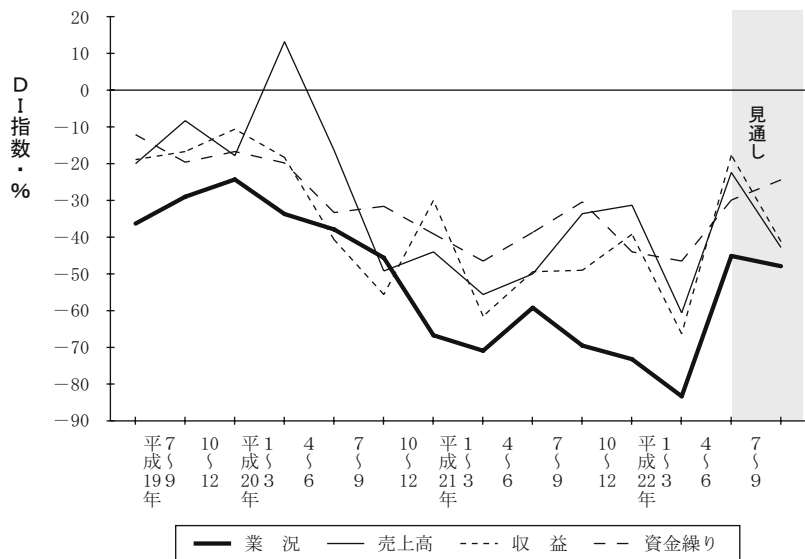
来期の見通し

業況は、農畜産物・水産物卸売業で大きく上昇し、悪化傾向を弱めるとみているほか、食料・飲料卸売業でもわずかながら上昇し、悪化傾向を弱めるとみえています。紙・紙製品卸売業は横ばいで推移するとみえています。一方、他の卸売業では下降し、悪化傾向を強めるとみえています。全体的には-48と今期より3ポイント下降し、悪化傾向が強まる結果となりそうです。売上額は-43と20ポイント、収益は-41と23ポイント下降し、大きく減少傾向を強めそうです。価格面では、販売価格は-17と13ポイント下降し、下降傾向は続きそうです。仕入価格は-5と9ポイント下降し、下降傾向に転じるとみえています。在庫は3と10ポイント下降し、過剰感が弱まりそうです。資金繰りは-25と5ポイント上昇しますが、依然窮屈感が続くともみえています。残業時間は-5と7ポイント上昇し、減少傾向を弱めそうです。人手は3と1ポイント下降し、わずかながら過剰感は続きそうです。設備の状況は-5と3ポイント下降し、不足感は強まるとみえています。設備投資については車両を中心に15%の先が実施予定とし、横ばいで推移しそうです。

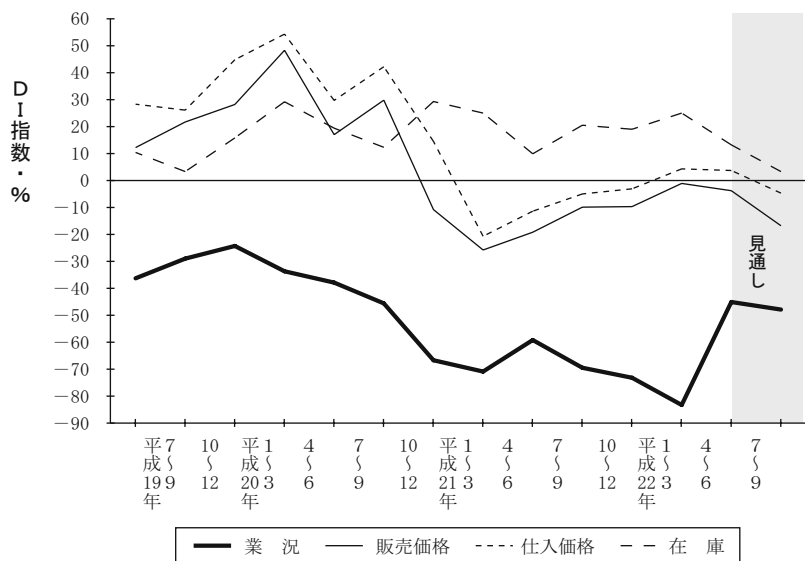
調査員のコメント

- 仕入価格の低下により、利益確保した。今後は昨年並みを維持していきたいが、口蹄疫の影響による売上・収益の減少が懸念される。
(飼料卸売業)
- 飲食店に食材を卸しているが、注文の多い店と少ない店の差が出てきており、今後はその格差が拡大すると予想される。
(業務用食材卸売業)

景況の推移

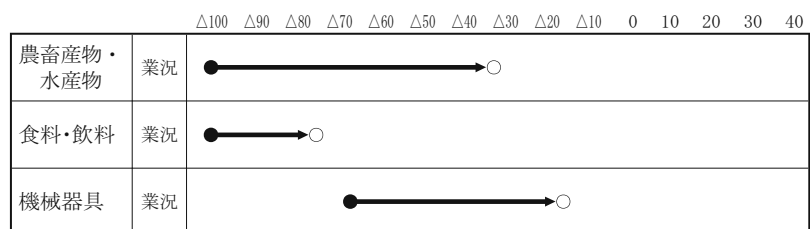


主な指標の動き



業種別業況判断DIの推移

今期 22年 4月～6月) / 前期 22年 1月～3月)



| | | | |
|---------|----|-------------|-----------|
| 経営上の課題点 | 1位 | 売上の停滞・減少(1) | 20社 (77%) |
| | 2位 | 同業者間の競争の激化 | 14社 (54%) |
| | 3位 | 利幅の縮小(3) | 10社 (38%) |

| | | | |
|-----------|----|----------|-----------|
| 当面の重点経営施策 | 1位 | 経費を節減する | 18社 (69%) |
| | 2位 | 販路を広げる | 17社 (65%) |
| | 3位 | 情報力を強化する | 8社 (31%) |

*()は前回順位 * 対象企業総数は26社